



桜坂駅 出入口

<施設の概要>

区 間：福岡市西区橋本地区～中央区天神地区間約12Km
 施 主：福岡市交通局
 完 成：平成16年7月
 開 業：平成17年2月3日

ヒューマンラインをコンセプトに16の駅舎をトータルデザイン。 券売機等の重要な空間は特長を生かした照明設計で解りやすさを表現

■建築との一体化を基本に、駅毎の個性を創出しつつ統一感のある照明を演出
 福岡市営地下鉄七隈線は、福岡市西南部地域の慢性的な交通渋滞の改善を図り、将来の交通需要の増大に対処することを主目的として計画された地下鉄で、西区橋本地区から中央区天神地区までの約12km区間に16駅を設置。「ヒューマンライン＝人に優しく地域に根ざした公共交通機関」をコンセプトに全駅がトータルにデザインされています。

照明は同一のコンセプトに基づき、建築と一体化し、空間に調和することを基本とした統一感のあるデザインとしています。また、形態や素材に特長をもたせた空間を特化させる部位(券売機・役務室・トイレ・ラッチ・乗降口)には、照明の手法や光源の使い分けで空間の差別化が図られて利用者に解りやすい駅舎としています。一方、各駅の個性を表現するため、出入口階段、踊り場、改札口正面壁面、ホーム両側部壁面など、多種の異なる素材を使った個性化壁面がつくられており、照明はその素材の特長に合わせた色温度のランプが使用されています。

全駅の共通デザインとしてガラス壁面を多く採用している駅舎出入口はスポットライトにより、床面と天井面に照射して空間に広がりをもたせて地下空間に下りる不安感を少なくすると同時に、夜間は内部より放つ光の箱となり、美的景観と駅出入口の視認性を高めています。

■照明コンセプト Lighting design concept

- ヒューマンラインのコンセプトに基づき、建築との一体化を基本に統一感のある照明デザイン
- 券売機等重要な部位には、照明手法や光源の使い分けにより解りやすさの表現
- 各駅とも異なる素材を使った個性化壁面には、利用者の目を楽しませる照明の工夫



薬院大通駅 コンコース：建築と一体化した壁面照明を配置し、空間の広がり感を演出している。また、利用者のスムーズな誘導を助けるため、天井部には出入口から続く動線に沿って600角モジュールのスクエア器具を規則的に配置している



薬院大通駅 ラッチ・券売機周り：行動のポイントとなるラッチ・券売機周りは、ベース照明とは異なる光色とダウンライトを採用することで、空間を特化させている



薬院大通駅 個性化壁面：各駅に設定されている個性化壁面を、その素材・色彩に合わせた光色と演色性の高いランプを選定し、各駅の個性を表現している



薬院大通駅 ホーム：軌道に沿ったHf32Wによるライン照明の他、ドア前にはその位置を解りやすくするためCDM35Wダウンライトを配置。ラウンド天井に間接照明と柱周りにダウンライトを配置している。



薬院大通駅 階段・エスカレーター：階段位置を解りやすくし、かつ昇降時の開放的な空間演出のため、ラウンド天井を上下配光のペンダントとスポットライトにより照らし上げている

■主要照明器具一覧

設置場所	灯 具	形 名	ランプ
ラッチ・券売機周り	ダウンライト	FHD-31006-PS	32W コンパクト形蛍光ランプ
個性化壁面	壁面照明	FHT-41007-PM9	32WHf蛍光ランプ
ホーム	間接照明	FHT-41007-PH9	32WHf蛍光ランプ
	埋込器具	FHT-41007-PM9	32WHf蛍光ランプ
コンコース	壁面照明	FHT-41007-PM9	32WHf蛍光ランプ
	スクエア器具	特注器具	45W コンパクト形蛍光ランプ
駅出入口	スポットライト	特注器具	42W コンパクト形蛍光ランプ